

第50期 中間グループ報告書

2017年4月1日 ▶ 2017年9月30日



宮坂 健《虹都市》

Kaga Electronics Group Report

株主の皆様へ



50年目を迎え、 さらなる成長を 目指します！

代表取締役会長
塚本 勲



代表取締役社長
門 良一

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜わり、厚く御礼申し上げます。
ここに当中間期（2017年4月1日～2017年9月30日）における事業環境および業績をご報告申し上げます。

当社は、9月12日に設立50年目を迎えました。これもひとえに株主の皆様のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

当中間期におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に、設備投資や個人消費にも持ち直しの動きがみられるなど景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

また、当社グループが属するエレクトロニクス業界はめまぐるしく変化しており、IoT^(注1)、ビッグデータ、人工知能などの新しい技術が自動車や医療など様々な分野で導入されるなどエレクトロニクスの多様化が加速しております。

この様な環境下において当社グループは、行動指針である「F.Y.T.^(注2)」と「3G^(注3)」の精神で、エレクトロニクスに関することなら川上から川下までお客様のあらゆるご要望にお応えしながら、さらなるグループの持続的成長を目指してまいります。

当中間配当金につきましては、株主の皆様への利益還元や連結配当性向などを勘案し、特別配当金5円を加えた1株当たり30円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(注1) IoT

Internet of Thingsの略語。あらゆる物がインターネットを通じてつながることによって実現する新たなサービス、ビジネスモデル、またはそれを可能とする要素技術の総称。

(注2) F.Y.T. [ファイト]

Flexibility	柔軟性を持って
Young	心の若さを持って
Try	絶えず挑戦

(注3) 3G

General	あらゆるものを
Global	全世界で
Group	総合力を活かして



ファイト・スピリッツ

加賀電子グループは、エレクトロニクス総合商社として、
つねにあらゆる可能性にチャレンジしてきました。

F.Y.T.の精神に基づく様々な取り組みをご紹介します。

ファイト・スピリッツ

#01

ベンチャー投資活動について

当社は「中期経営計画2018」に掲げた成長戦略の一環として、ベンチャー投資活動を積極的に展開いたしました。

主な投資実績

社名	事業内容
(株)カドー	電子機器製品（空気清浄機、加湿器など）の企画・設計・製造・販売
ギークス(株)	IT人材事業、ゲーム事業、動画事業、インターネット事業の展開
PicoCELA(株)	情報通信システムの企画、開発、販売および保守
(株)ママスクエア	託児機能付ワーキングスペースの運営・展開
(株)スカイディスク	IoT センサデバイスの開発、通信環境の構築、分析 (AI) クラウドの構築、分野別サービスの提供
(株)スカイロボット	産業用ドローン本体およびその周辺機器、システムなどの開発、販売「ドローンスクールジャパン」の運営、ドローンレースなど各種イベントの企画、開催

投資内容：第三者割当増資引き受けによる資本参加

当社グループは「中期経営計画2018」に掲げる重点市場（車載、環境、通信、産業機器、アミューズメント）や新規事業分野（医療・ヘルスケア、素材）などで広くベンチャー企業を発掘し、グローバルなグループネットワークとベンチャー企業のユニークな発想力や高い技術力を組み合わせてまいります。今後も積極的な投資活動により、新たなイノベーションを創出し、当社グループの持続的成長を図ってまいります。

ファイト・スピリッツ

#02

ベトナムに新会社設立

当社は、東南アジア地域におけるEMS生産拠点の拡充を目的としてKAGA ELECTRONICS(VIETNAM)CO.,LTD.を設立いたしました。

会社概要

会社名：KAGA ELECTRONICS(VIETNAM)CO.,LTD.
 株主構成：KAGA ELECTRONICS(THAILAND)CO.,LTD.100%
 代表者：吉岡賢一
 所在地：ベトナム社会主義共和国フンイエン省
 設立日：2017年7月25日
 資本金：78,750百万VND
 事業内容：EMS事業および電子部品・半導体の販売など
 従業員数：約80名

ファイト・スピリッツ

#03

加賀電子所属川岸史果プロツアー初優勝！

当社所属女子プロゴルファーの川岸史果プロが「マンシングウェアレディース東海クラシック」において、プロ初優勝を果たしました。ご声援ありがとうございました！

当社グループはこれからも川岸史果プロを応援してまいります。



連結財務ハイライト

売上高

116,582百万円
(前年同四半期比6.3%増 )

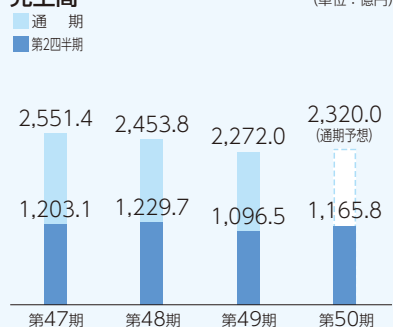
経常利益

4,703百万円
(前年同四半期比54.4%増 )

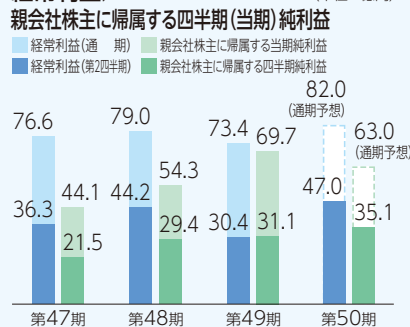
親会社株主に帰属する四半期純利益

3,516百万円
(前年同四半期比13.0%増 )

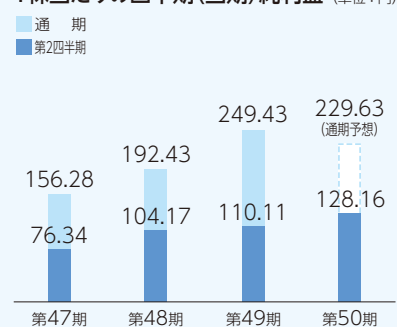
売上高



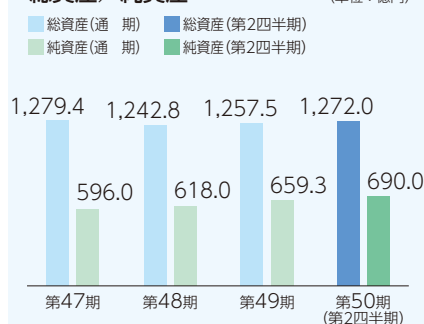
経常利益 / 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



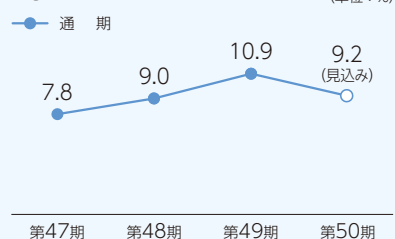
1株当たりの四半期(当期)純利益



総資産 / 純資産

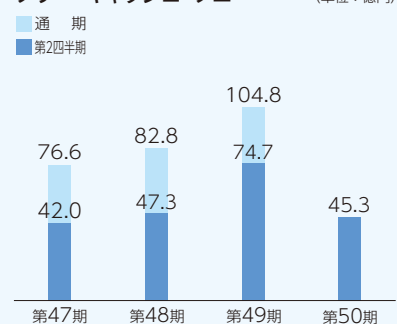


ROE



ROE(自己資本利益率)は、株主の皆様への投資を活用した結果どのくらい利益を得たのかを示す指標です。
ROE(%)=親会社株主に帰属する当期純利益÷自己資本×100

フリー・キャッシュ・フロー



第50期 通期業績予想*

	修正前		修正後		修正前からの増減率
	修正前	修正後	修正前	修正後	
売上高	230,000百万円	232,000百万円	230,000百万円	232,000百万円	0.9%増
営業利益	7,000百万円	7,500百万円	7,000百万円	7,500百万円	7.1%増
経常利益	7,500百万円	8,200百万円	7,500百万円	8,200百万円	9.3%増
親会社株主に帰属する当期純利益	5,500百万円	6,300百万円	5,500百万円	6,300百万円	14.5%増

▶ 配当金のお知らせ

第50期		
中間配当	期末配当(予想)	年間配当(予想)
30円 (普通配当25円 特別配当5円)	35円	65円 (普通配当60円 特別配当5円)

*2017年10月25日付で通期業績予想を修正いたしました。

*2017年11月8日付で中間配当金を修正いたしました。

▶ 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期末 (2017年9月30日現在)	前期末 (2017年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	104,238	103,684
固定資産	22,966	22,067
有形固定資産	11,999	11,745
無形固定資産	754	841
投資その他の資産	10,211	9,479
資産合計	127,204	125,751
負債の部		
流動負債	48,972	50,242
固定負債	9,224	9,576
負債合計	58,197	59,819
純資産の部		
株主資本	66,977	64,481
資本金	12,133	12,133
資本剰余金	13,853	13,912
利益剰余金	43,032	40,476
自己株式	△2,041	△2,040
その他の包括利益累計額	1,958	1,391
非支配株主持分	71	59
純資産合計	69,006	65,932
負債純資産合計	127,204	125,751

▶ 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期(累計) (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	前第2四半期(累計) (自2016年4月1日 至2016年9月30日)
売上高	116,582	109,659
売上原価	100,363	94,486
売上総利益	16,218	15,172
販売費及び一般管理費	11,824	11,959
営業利益	4,394	3,212
営業外収益	401	335
営業外費用	92	502
経常利益	4,703	3,045
特別利益	552	105
特別損失	343	60
税金等調整前四半期純利益	4,913	3,090
法人税、住民税及び事業税	756	688
法人税等調整額	628	△717
法人税等合計	1,385	△29
四半期純利益	3,527	3,119
(内訳)		
非支配株主に帰属する四半期純利益	11	7
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,516	3,111

(注) 記載金額単位未満の端数については、切捨ての方法で表示しております。

▶ セグメント別売上高

■ 電子部品事業

電子部品事業は、電子機器向けEMS^(注1)ビジネスや半導体の販売などが好調に推移いたしました。その結果、売上高は85,918百万円(前年同四半期比3.8%増)となり、セグメント利益は2,893百万円(前年同四半期比22.2%増)となりました。

(注1) Electronics Manufacturing Serviceの略語。製品の開発・生産を受託するサービス。

■ 情報機器事業

情報機器事業は、住宅向けおよび商業施設向け関連商材が好調に推移し、パソコンの販売も回復いたしました。その結果、売上高は23,446百万円(前年同四半期比14.2%増)となり、セグメント利益は1,116百万円(前年同四半期比107.0%増)となりました。

■ ソフトウェア事業

ソフトウェア事業は、VR^(注2)やAR^(注3)など新規分野の開発に取り組みましたが、CGアニメーション制作やゲームソフトの開発などの受注が低迷いたしました。その結果、売上高は1,142百万円(前年同四半期比20.8%減)、セグメント利益は111百万円(前年同四半期比63.6%減)となりました。

(注2) Virtual Realityの略語。仮想現実。(注3) Augmented Realityの略語。拡張現実。

■ その他事業

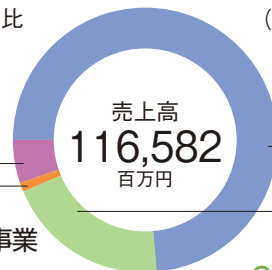
その他事業は、国内のアミューズメント業界向けゲーム機器事業やゴルフ用品販売事業が堅調に推移いたしました。その結果、売上高は6,075百万円(前年同四半期比23.8%増)となり、セグメント利益は198百万円(前年同四半期はセグメント損失57百万円)となりました。

その他事業

6,075百万円
(前年同四半期比
23.8%増 )
構成比5.2%

電子部品事業

85,918百万円
(前年同四半期比
3.8%増 )
構成比73.7%



ソフトウェア事業

1,142百万円
(前年同四半期比
20.8%減 )
構成比1.0%

情報機器事業

23,446百万円
(前年同四半期比
14.2%増 )
構成比20.1%

グループ・ネットワーク

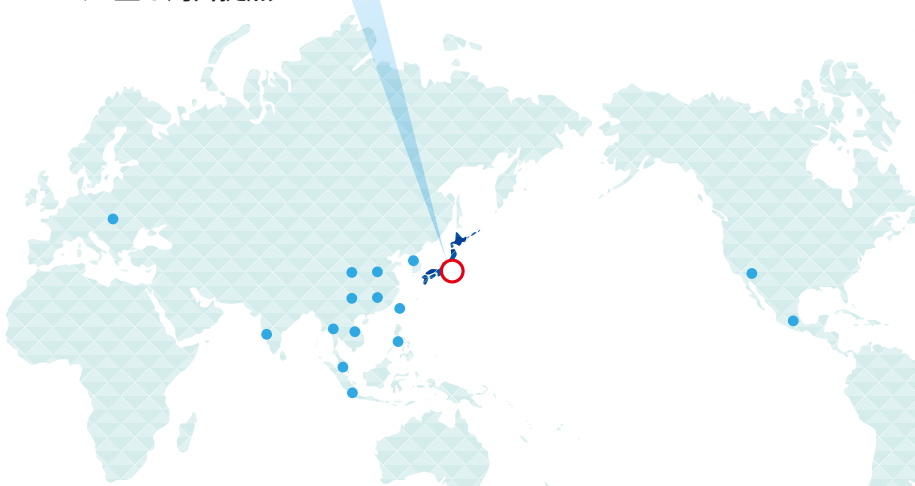
▶ 主な国内拠点



JAPAN

● 本 社	TEL. 03-5657-0111	● 環境事業部	TEL. 03-5657-0129
● 電子事業部	TEL. 03-5657-0121	● 営業推進事業部	TEL. 03-5657-0110
● 北関東営業所	TEL. 048-667-3321	● EMS事業部	
● 北陸営業所	TEL. 076-262-0711	● 営業第一部	TEL. 03-5931-0106
● 関西営業所	TEL. 06-6105-0430	● 営業第二部	TEL. 06-6105-0433
● 名古屋営業所	TEL. 052-746-6480	● 特機事業部	
● 新横浜営業所	TEL. 045-473-7321	● 営業第一部	TEL. 03-5931-0102
● 浜松営業所	TEL. 053-457-1661	● 営業第二部	TEL. 052-746-6481
● 福岡営業所	TEL. 092-282-1140	● 営業第三部	TEL. 06-6105-0430
● 仙台営業所	TEL. 022-722-7410	● 特販営業部	TEL. 03-5931-0102
● 京都営業所	TEL. 075-353-4551	● AM営業部	TEL. 03-5931-0103
● 新潟営業所	TEL. 0258-38-8351	● 特販事業部	TEL. 03-5657-0123
● 広島営業所	TEL. 084-973-7051	● 技術統括部	TEL. 03-5657-0130
● 通信事業部	TEL. 03-5657-0120		

▶ 主な海外拠点



GLOBAL

主な国内関係会社

加賀テック(株)	TEL. 03-5657-0140
加賀デバイス(株)	TEL. 03-5657-0144
加賀ソルネット(株)	TEL. 03-5931-0123
加賀コンポーネント(株)	TEL. 03-5931-0160
(株)イー・ディーデバイス	TEL. 03-5657-0141
加賀マイクロソリューション(株)	TEL. 03-5657-0150
(株)デジタル・メディア・ラボ	TEL. 03-5931-0147
加賀スポーツ(株)	TEL. 03-5657-0148
加賀アミューズメント(株)	TEL. 03-5931-0134
加賀テクノサービス(株)	TEL. 03-5619-4111

主な海外関係会社

- KAGA (H.K.) ELECTRONICS LIMITED
- KAGA (SINGAPORE) ELECTRONICS PTE LTD
- KAGA (KOREA) ELECTRONICS CO.,LTD.
- KAGA (TAIWAN) ELECTRONICS CO.,LTD.
- 加賀電子(上海)有限公司
- KAGA ELECTRONICS (THAILAND) COMPANY LIMITED
- KAGA ELECTRONICS (USA) INC.
- 加賀電子(大連)有限公司
- KD TEC s.r.o.
- TAXAN MEXICO, S.A. DE C.V.

会社概要／株式の状況 (2017年9月30日現在)

▶ 会社概要

設立	1968年9月12日
資本金	121億3,354万円
従業員数	602名 (単体：男423名・女179名)
平均年齢	41.0歳 (男43.3歳・女35.5歳)
事業の内容	当社は、電子機器用エレクトロニクス部品の企画、開発、製造、仕入販売、コンピュータおよび周辺機器・関連部品・付属品・ソフトウェアなどの仕入販売ならびに輸出入を主な業務とし、これに付帯する業務も営んでおります。

▶ 役員

代表取締役会長	塚本 勲
代表取締役社長	門 良 一
専務取締役	高橋 信 佐
専務取締役	高師 幸 男
専務取締役	寛 新 太 郎
常務取締役	川 村 英 治
取締役	俊 成 伴 伯
取締役	野 原 充 弘
社外取締役	三 吉 暹
社外取締役	田 村 彰
常勤監査役	亀 田 和 典
常勤監査役	石 井 隆 弘
社外監査役	田 中 雄 一 郎
社外監査役	米 川 勇

▶ 株式の状況

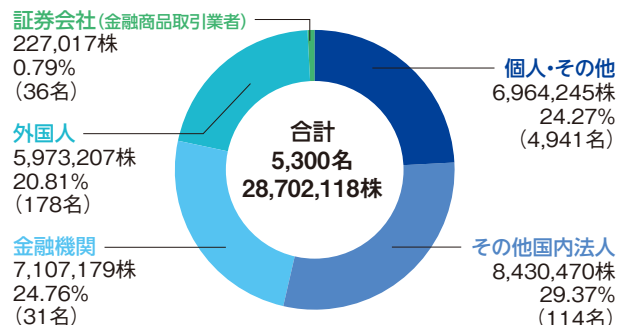
発行可能株式総数	80,000,000株
発行済株式総数	28,702,118株
単元株式数	100株
株主数	5,300名

▶ 大株主の状況

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社三共	3,824	13.32
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	2,808	9.79
株式会社OKOZE	1,790	6.24
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,212	4.22
加賀電子従業員持株会	1,208	4.21
株式会社みずほ銀行	950	3.31
塚本 勲	787	2.74
GOVERNMENT OF NORWAY	592	2.06
沖電気工業株式会社	526	1.83
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	523	1.82

(注) 1. 持株数は千株未満を切捨てて記載しております。
 2. 上記のほか、自己株式が1,267千株あります。
 3. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社および日本マスタートラスト信託銀行株式会社の持株数は、信託業務によるものであります。

▶ 所有者別株式分布状況



▶ 株主メモ

- 事業年度** 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会** 毎年6月
- 基準日** 定時株主総会の議決権 3月31日
期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
- 株主名簿管理人** 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
- 特別口座管理機関** 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同連絡先** 〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711 (通話料無料)
- 公告方法** 電子公告の方法により行います。
ただし、電子公告によることができない事故
その他のやむを得ない事由が生じたときは、
日本経済新聞（東京）に掲載します。
公告掲載URL <http://www.taxan.co.jp/>

▶ 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申出ください。

▶ 住所変更、単元未満株式の 買取・買増などのお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました
株主様は、三菱UFJ信託銀行株式会社にお申出ください。

表紙・絵

宮坂 健 KEN MIYASAKA



虹都市

海の彼方にある楽園というイメージは古代から海辺に暮らす様々な民族の間に伝説として残っているらしい。動物のいるこちら側なのか、あるいは虹の彼方の島なのか、おそらく画面全体が楽園なのかと思う。いずれにせよ我々の住む世界とはすべてが違っている。すでに失われたか、失おうとしているものだ。

PROFILE

作者略歴：1949年生まれ 安井賞展、浅井忠記念賞展、セントラル油画大賞展、日本青年画家展など

個展：日本橋三越など

著書：『地球、旅の記憶』



〒101-8629 東京都千代田区神田松永町20番地
TEL 03-5657-0111 (代) FAX 03-3254-7131

<http://www.taxan.co.jp/>

東証一部：証券コード 8154

(お問い合わせ先)

秘書・広報室 TEL 03-5657-0106



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



JISQ 14001:1996
登録番号 JSAE594



EMS Accreditation
EMS Accreditation
認定番号 RE005